

データ駆動型発明の最前線：Iprova が AI×ML で創出する 1,500 件超の特許アイデア



Genspark

Aug 13, 2025

要約

Iprova は、機械学習や自然言語処理を用いて世界中の技術・社会・市場の“変化”から発明のタネ (inventive signals) を抽出・接続し、短期間で特許化可能なアイデアを量産する「データ駆動型の発明」企業です。スイス・ローザンヌに本拠を置き、ロンドンとケンブリッジにも拠点を持ちます。創業者は Julian Nolan (2010 年創業) で、プロダクトは発明創出ソフトウェア「Invention Studio (最新は Invention Studio 3)」と、プロの発明者チームによる発明キャンペーン (2 週間ごとの発明提示、成果受領に連動する部分成功報酬型) です。累計 1,500 件超の特許出願に結びついた実績を掲げ、世界大手テック 10 社すべてが Iprova 発の特許を引用していると主張します。顧客には Panasonic、Nokia、Sony、Philips、BIC、Procter & Gamble、Deutsche Telekom、Ericsson などが含まれます。Iprova¹Iprova – What we do²Iprova – 10 年の歩み³Cambridge Network⁴IEEE Spectrum⁵

Iprova のコア

- 会社・拠点・人材
 - 本社はスイス・ローザンヌ。開発チームはロンドン、ケンブリッジ、ローザンヌに分散。Iprova – Who we are⁶Iprova – 10 年の歩み³
 - 経営陣：Founder/CEO Julian Nolan、Chief Scientific Officer Dr Nicholas Walker、Chief Invention Officer Dr Chris Wright ほか。アドバイザーに Philips 元 CIPO 等がいる。チームの過半が博士号保持。Iprova – Who we are⁶
 - 創業年は 2010 年。Strategic Allies⁷
- ミッションと成果指標
 - 「世界の膨大な変化」をリアルタイムに横断し、発明のシグナルを接続して新規・特許化可能な発明を創出。1,500 件超の特許出願に結びついたと主張。対象分野は 100 領域超。2019 年時点で世界大手テック 10 社すべてが Iprova

由来の特許を引用とする記載。Iprova[1](#)

- 何が新しいか（技術的独自性）
 - 機械学習・自然言語処理（ML/NLP）を用い、日々の社会・市場・技術の進展から“遠い領域”も含めて有用なシグナルを抽出・接続。時流に即応して「最初に発明する」可能性を高める“多様性とタイミング”を強調。IAM Media[8](#)iP Council[9](#)
- プロダクト/提供形態
 - Invention Studio（最新世代は Invention Studio 3）：人間の創造性を拡張する発明創出ソフト。Microsoft Azure 上で稼働し、Clarivate の IP 管理ソフト IPfolio と統合（2025 年 3 月発表）。エンドツーエンドで発明から出願管理へ橋渡し。Clarivate プレスリリース [10](#)
 - Invention Studio_evo/evo+：生成 AI や標準化（3GPP）向け機能を含む新世代プラットフォーム（2023 年発表文脈、3GPP 特化キャンペーンの記載もあり）。Strategic Allies[7](#)Iprova – 3GPP[11](#)
 - 発明キャンペーン（サービス）：2 週間ごとに発明案の束を提示。受け入れ/拒否は顧客裁量。受け入れ連動の部分成功報酬型を採用。Iprova – What we do[2](#)
- 顧客・活用分野
 - 代表顧客名の言及：Panasonic、Nokia、Sony、Philips、BIC、Procter & Gamble、Deutsche Telekom、Ericsson 等。業種は通信、家電、自動車、ヘルスケア、FMCG などに広がる。Cambridge Network[4](#)IEEE Spectrum[5](#)
- 提携・エコシステム
 - Microsoft と連携したイベント（IMD での AI 発明サミット、2025 年 9 月、Agentic AI の新製品ワークフローを披露予定）。Iprova – Microsoft 連携 [12](#)
 - Clarivate と提携し、IPfolio と Iprova の Invention Studio 3 を統合。発明の捕捉・創出・精緻化から出願管理までの一連の流れを接続。Clarivate プレスリリース [10](#)
 - 3GPP 標準化ワーク向けソフト機能のトライアル評価コメントが紹介されている。Iprova – 3GPP[11](#)

どのように“発明”を生み出すか（ワークフローの実像）

- 情報の広角探索とシグナル抽出
 - 日々更新される膨大な外部ソース（ウェブや各種公開情報）から“発明に効く変化”を検知。遠い技術領域の進歩も対象にして、既存の専門分野をまたいだ組み合わせの種を拾い上げる。IAM Media[8](#)Iprova[1](#)
 - 例：地理情報の新知見×エレベータ制御、AV の制御系×パーソナルヘルス

ケア、薬物送達法×油田探査課題など、異分野接続による新規解の創出を狙う。Startupticker.ch[13](#)

- ソフトウェアの操作感と“接続”の提案
 - スコーピングで関連研究領域のマップ (円グラフ UI)、要点ハイライトから“generate connection”で具体的な組み合わせ提案へ落とす等、人間の発想を誘発・支援するインタラクションが紹介されている。IEEE Spectrum[5](#)
- キャンペーン運用
 - 2週間ごとに発明の束を提示し、顧客は受け入れ可否を判断。プロの発明者チームが並走し、事業戦略・製品ロードマップ・顧客体験などの目標領域に沿って次々と発明を積み上げる。Iprova – What we do[2](#)
- スピード優位
 - “最初に発明する”可能性を高めるタイミングの優位性と、多様性の優位性を公式・外部両方で強調。初期発明を数週間で提示できるという事例記述がある（Panasonic 案件で4週間で初期発明提示）。4iP Council[9](#)Startupticker.ch[13](#)

代表的な事例

- 通信 (4G/5G/その先)
 - Deutsche Telekom の 5G 戦略支援の発明群。受け入れられた発明から多くの特許が成立し、AT&T、Nokia、Ericsson、Motorola、Qualcomm 等が引用したものもあると記載。Iprova – Telecom ケース [14](#)
 - 具体例 (Iprova 作の発明→特許)
 - Ad-hoc な端末群でネットワーク機能を仮想化し、混雑環境でのスケール性を高める：EP3198796 (B1)。Iprova – Telecom ケース [14](#)
 - 履歴に基づく位置・利用予測でスペクトラムアクセスを最適化：US9749870 (B2)。Iprova – Telecom ケース [14](#)
- 家電・モバイル・FMCG
 - Philips、Panasonic、Sony、BIC などが顧客として名指し。BIC は自社にデータ駆動型発明ラボを設置し、Iprova の技術を内製化した事例が紹介される。Cambridge Network[4](#)
- 大企業との発明テーマ例 (IEEE Spectrum の具体描写)
 - Panasonic：自動運転車の“空き時間”に配送などの新サービスを担わせるというアイデア提示。IEEE Spectrum[5](#)
 - Ericsson：リチウム電池デンドライトのランダム性を一時的に計測し暗号鍵に変換するコンセプト（電磁署名を鍵生成に利用）。関連特許：US10187204B2。IEEE Spectrum[5](#)Google Patents (US10187204B2) [15](#)

- 音声系：高性能マイク＋話者識別ソフトの組合せによる高精度転記ツールの提案プロセス例。IEEE Spectrum[5](#)

プロダクトと最新動向

- Invention Studio 3 (Azure 上で提供、Clarivate IPfolio と統合)
 - 発明の捕捉・創出・精緻化→IP 管理プロセスへのスムーズな受け渡しを実現。Clarivate による AI ドラフティング「Rowan Patents」買収と併せ、出願作成の統合度が増すエコシステム像が示唆される。Clarivate プレスリリース [10](#)
- Invention Studio_evo / evo+ と 3GPP
 - 無線標準 (3GPP) 開発の広範なユースケースに対し、従来の領域外からの知見を接続してアイデア発見を加速する狙い。標準化の熟練者による評価コメントも掲載。Iprova – 3GPP[11](#)
- Agentic AI とワークフロー製品 (2025 年内ローンチ予告)
 - Microsoft と IMD でのサミットで、Agentic AI ベースの人×AI 統合ワークフロー製品を披露予定と発表 (2025 年 9 月開催)。Iprova – Microsoft 連携 [12](#)

導入の進め方 (一般的なベストプラクティス)

- 目的・領域定義 (スコーピング)
 - 事業戦略、製品ロードマップ、顧客体験ジャーニー等を元に発明ターゲット領域を定義。スコープ設定の良し悪しが創出される発明の“質と距離”を規定するため、経営・事業・IP・R&D の四位一体で合意形成を。Iprova – What we do[2](#)
- 発明キャンペーン運用
 - 2 週間ごとに発明束が提示され、受け入れ/拒否を素早く判断。Iprova 側も部分成功報酬でインセンティブが整合。初回出力までのスピード感 (数週間) を活かし、学習サイクルを早回しにする。Iprova – What we do[2](#)Startupticker.ch[13](#)
- 社内定着 (e-Iprova)
 - BIC のように自社ラボ化して内製能力を高めるアプローチも示されている。外部起点→内製化の段階的移行を視野に、CI/CD 的に発明パイプラインを設計する。Cambridge Network[4](#)

適用が効くシナリオ (例)

- 標準化やエコシステム競争で“先手の特許ポジション”が価値を生む領域 (無線、車

載、IoT 等)：シグナルの早期接続で先手を狙う。Iprova – 3GPP[11](#)

- 産業間の“収斂 (convergence)”が進み、遠い技術の横連携から差が付く領域 (スマートヘルス×自動運転など)。Startupticker.ch[13](#)
- 知財ドリブンな収益モデル (ライセンス、クロスライセンス、訴訟回避の防衛特許) を強化したい場合。創出発明→出願・管理までの統合で運用効率を高められる可能性。Clarivate プレスリリース [10](#)

留意点・リスク (一般論)

- 外部情報の変化に強く依存するため、出典の信頼性・偏り対策や最新性の検証フローは不可欠 (社内レビューと併走する“人間の判断”を前提に運用すべき)。これは一般的な AI アシスト発明の運用設計上の留意点で、Iprova も人×AI のハイブリッドを前提にしている。4iP Council[9](#)
- 発明の“ビジネス整合性”確保は各社の戦略・市場見立てに依存するため、受入判定の迅速さと質 (門番機能) の設計がボトルネックになり得る (Iprova は 2 週サイクルで前提化)。Iprova – What we do[2](#)
- 社内への知識移転 (自社ラボ化を含む) を進めないと、外部依存が長期化しコスト構造が硬直化する懸念。BIC 事例のような内製化は重要な選択肢。Cambridge Network[4](#)

Iprova をさらに理解するための一次情報リンク

- 公式トップ・実績 (1,500+出願、100+分野、トップテック 10 社引用) : Iprova[1](#)
- 提供内容・料金モデル (2 週ごとの発明提示、部分成功報酬) : Iprova – What we do[2](#)
- 会社・チーム (拠点、経営陣、アドバイザー、採用) : Iprova – Who we are[6](#)
- 事例ポータル (業種別) : Iprova – Our work[16](#)
- 通信事例 (Deutsche Telekom、関連特許番号記載) : Telecom ケース [14](#)
- 10 周年記事 (ローザンヌ本社、BIC の内製化コメント等) : Iprova – 10 年の歩み [3](#)
- Clarivate との統合発表 (Invention Studio 3 × IPfolio) : Clarivate プレスリリース [10](#)
- 3GPP 標準化に向けた訴求ページ: Iprova – 3GPP[11](#)
- Microsoft × IMD のサミット (Agentic AI ワークフロー披露予告) : Iprova – Microsoft 連携 [12](#)
- 外部の長文紹介 (顧客名と事例の細部、UI の説明) : IEEE Spectrum[5](#)
- 技術の位置づけ・説明 (ML/NLP、10 年の研究、2,500 件超の発明作成経験) : IAM Media[8](#)
- 顧客・活用分野の外部記事: Cambridge Network[4](#), Startupticker.ch[13](#)

もっと詳しく

1

www.iprova.com

2

www.iprova.com

3

www.iprova.com

4

www.cambridgenetwork.co.uk

5

spectrum.ieee.org

6

www.iprova.com

7

strategicallylies.co.uk

8

www.iam-media.com

9

www.4ipcouncil.com

10

clarivate.com

11

www.iprova.com

12

www.iprova.com

[13](#)

www.startupticker.ch

[14](#)